

EZH2 遺伝子変異解析		P000042			
		担当部署			
EZH2		病理			
<b>検査オーダー</b>					
患者同意に関する要求事項		該当なし			
オーダーリング手順	1	サイボウズ→ファイル管理→54. 病理診断科→遺伝子解析依頼申請書→ ※専用依頼書が必要			
	2				
	3				
	4				
	5				
検査に影響する臨床情報		1) 10%中性緩衝ホルマリンの固定時間が6時間未満 48時間以上 2) 未染スライドで6週間以上放置されていたもの 3) コーティング加工がされていないスライドガラス			
検査受付時間		8:15~16:00			
<b>検体採取・搬送・保存</b>					
患者の事前準備事項		手術、及び内視鏡、穿刺等の侵襲的検体採取では様々な準備が必要となるため、各々の担当医師、担当看護師等の指示に従う。			
検体採取の特別なタイミング		治療の前			
検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位	
1	未染スライドガラス	スライドケース	無	5	枚
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
検体搬送条件		室温			
検体受入不可基準		オーダーがない。			
保管検体の保存期間		パラフィンブロック：半永久 *保管検体から再検査をオーダーする場合は要連絡			

## 検査結果・報告

検査室の所在地	病院棟 3 階 病理診断科					
測定時間	7～11 日					
生物学的基準範囲	該当なし					
臨床判断値	変異ありもしくは変異なし					
基準値					単位	該当なし
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	
パニック値	高値	該当なし				
	低値	該当なし				
生理的変動要因	該当なし					
臨床的意義	<p>本検査は、濾胞性リンパ腫（Follicular Lymphoma）における EZH2 阻害剤「タゼメトスタット（商品名：タズベリク®）に関して適切な投与を行うための補助に用いる検査です。</p> <p>濾胞性リンパ腫は、非ホジキンリンパ腫のうち 10～20%を占め、びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫（DLBCL）に次いで 2 番目に多い疾患です。一般的に、年単位で進行が進む「低悪性度（インドレント）」に分類され化学療法への感受性も高いですが、再発を繰り返すのが一般的となっております。5 年で、10%ほどが「中・高悪性度（アグレッシブ）」に進展するという報告があります。</p> <p>濾胞性リンパ腫患者のうち、7～27%に EZH2 遺伝子の変異が確認されております。</p>					